

**【発行のご案内】**

明日の国際保健医療協力 magazine

**最新号 『NEWSLETTER』 vol.15/2021****特集 日本の中のグローバルヘルス**

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（略称：NCGM）国際医療協力局は、“明日の国際保健医療協力 magazine”の最新号として『NEWSLETTER』 vol.15/2021 を発行しました。



『NEWSLETTER』は、グローバルヘルス、国際保健医療協力の潮流やキーワード、国際医療協力局の活動の紹介を通じて、グローバルヘルスと国際保健医療協力の実際についてご理解をいただくことを目的とした NCGM 国際医療協力局の広報誌です。2010年の創刊以来、今回で通算第32号の発行となります。



最新号の特集は「日本の中のグローバルヘルス」です。

国際社会は、持続可能な開発目標（SDGs）の1つとしてすべての人に健康と福祉が提供されることを目指しています。その達成には、各国内で置き去りにされがち一部の外国人の健康リスクに目を向け、医療サービスにたどり着ける仕組みをつくることも大切な取り組みとされています。NCGM 国際医療協力局も国際保健医療協力の経験を活かし、様々な取り組みを行っています。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、ともすると途上国の問題としてとらえられがちだったユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の問題が、先進国にも存在することを、私たちに突きつけました。それは、在留外国人の問題のみならず、国内の様々なマイノリティの方々、さらには、平時であれば、医療へのアクセスに何の問題もない私たち多くの国民にも、決して他人ごとではないということだと思えます。今回の特集が、多くの方に国内外に存在するグローバルヘルスの問題を考えていただくきっかけになればと考えています。



国際保健医療協力の知見・経験を国内で活かした地方自治体の取り組みとして「岡山県の新型コロナウイルス感染対策の仕組みづくり」に関する、Special Interview で取り上げています。

『NEWSLETTER』 vol.15 / 2021 の内容は、次頁の通りです。

# 『NEWSLETTER』 vol.15/2021

## 特集 日本の中のグローバルヘルス

- 仕 様 : A5 サイズ、24 ページ、カラー印刷
- 発 行 日 : 2021 年 9 月 30 日
- 発 行 者 : 国立国際医療研究センター 国際医療協力局
- 内 容 : ◎NEW TOPICS 国際保健基礎講座 2021 オンラインコース  
◎特集 日本の中のグローバルヘルス
- ◆すぐそばにある世界の健康問題  
日本の中のグローバルヘルスって何だろう
  - ◆日本の中の国際保健協力活動  
外国人を医療につなげる道筋づくり
  - ◆グローバルヘルスのルールづくりに貢献する「規範セッター」
  - ◆Special Interview  
世界で学び、日本で活かす  
岡山県の新型コロナウイルス感染対策の仕組みづくり  
NCGM 国際医療協力局/医師 市村康典
- ◎INFORMATION ラジオ「グローバルヘルス・カフェ」他

### 『NEWSLETTER』 vol.15/2021



《ご参考》『NEWSLETTER』発行リスト

	発行号	特 集
1	2021年vol.15 (最新号)	日本の中のグローバルヘルス
2	2021年vol.14	看護職とグローバルヘルス
3	2020年vol.13	新型コロナウイルスに挑む国際保健医療協力
4	2020年vol.12	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ 世界中のすべての人に健康を
5	2019年vol.11	グローバルヘルスと「医療の質」 SDGs時代の患者安全
6	2019年vol.10	保健医療が支えるTOKYO2020
7	2018年vol.9	アウトブレイクから人々を守る 感染症健康危機管理
8	2018年vol.8	誰ひとり取り残さない 持続可能な開発目標-SDGs-で社会を変える
9	2017年vol.7	コミュニティの力で健康をつくる 国際保健と地域保健の共通点
10	2017年vol.6	NCGMの何が国際なのか グローバルヘルスの岐路と新たなコース
11	2016年vol.5	医療の国際展開 途上国支援の新しいアプローチ
12	2016年vol.4	院内感染を防ぐ 途上国にもウイルスや細菌に負けない病院を
13	2015年vol.3	研究とフィールド調査 途上国を歩いて課題解決の鍵を探る
14	2015年vol.2	新しい命の 28 日間 途上国で挑戦する新生児ケア
15	2015年vol.1	国際機関 世界を助けるお金の活かし方
16	2014年秋号	ラオス 子どもの笑顔から始まる未来
17	2014年夏号	お母さんの声が聴きたい 安心して赤ちゃんが産める地域づくり
18	2014年春号	ジェンダーギャップ NEWSLETTER世界の片隅で女性を生きる
19	2014年冬号	病院から青空の下へ 地域とつなぐ HIV 治療
20	2013年秋号	看ることと育てることと 国際看護師
21	2013年夏号	5S整理・整頓で幸せになる！
22	2013年春号	国づくりは、人づくり～ 開発途上国の保健医療人材が育つために～
23	2013年冬号	ワクチン 命を守るクスリ
24	2012年夏秋 合併号	MDGs 期限まで3年世界は変わったか？
25	2012年春号	東日本大震災 宮城県東松島市で復旧・復興支援を続けて
26	2012年冬号	創立25周年記念特別編集号 国際保健医療協力活動の軌跡と展望
27	2011年秋号	グローバル・ヘルス なぜ開発途上国の健康問題を考えるの？
28	2011年夏号	国際医療協力部における 東日本大震災の復旧・復興支援活動
29	2011年春号	保健システム強化のための人材開発
30	2011年冬号	母子保健分野の国際協力
31	2010年秋号	近くなったアフリカ 感染症対策について考える
32	2010年夏号 (創刊号)	僕たちとどこか似ている国 ベトナムへの保健医療協力

※『NEWSLETTER』のバックナンバーは、国際医療協力局ウェブサイト（以下 URL）から全てダウンロードできます。

<http://kyokuhp.ncgm.go.jp/library/newsletter/index.html>



## 【NCGM 国際医療協力局について】

NCGM 国際医療協力局は、保健医療分野における日本を代表する国際保健医療協力機関です。厚生労働省や外務省、独立行政法人 国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）などと連携しながら、低中所得国の医療や保健衛生の向上を図るための支援を行っています。

### ★本件に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

国際医療協力局 広報情報課

昆 弘人  
こん ひろと

TEL： 03-3202-7181（代表）内線：2744

E-mail：[koho@it.ncgm.go.jp](mailto:koho@it.ncgm.go.jp)